

公益財団法人 四万十川財団
TEL 0880-29-0200
FAX 0880-29-0201
Mail office@shimanto.or.jp
URL http://www.shimanto.or.jp



岩間の沈下橋



鮎の火ぶり漁

■第12回「川の日」ワークショップ

先日東京で開催された「川の日」ワークショップに参加してきた。このワークショップは、日本の各地に、いい川づくりを促進することを目的としており、全国の川仲間を集めて各地域の事例を報告・議論し、共有する内容となっている。実行委員会は市民や住民団体、国・自治体の河川管理者、学識経験者、コンサルタント等で組織されており、官と民、専門家が一体となって河川保護に取り組んでいる。今回のワークショップは、大学生や中学・高校生など若い世代の活動を発表、応援する場として開催されたのだが、その内容は予想以上に質が高く、徹底したデータ分析を基にした信憑性の高い発表であり、我々にとっても大きな刺激となった。彼らの発表事例をいくつか紹介したいと思う。

■早稲田大学本庄高等学園

河川エビの分布状況とその考察について。埼玉県内の河川において外来エビが増殖していることに危機感を抱き、在来エビと外来エビの生命力の違いに焦点をあてて研究を開始。両エビの環境対応能力について、①エラの能力②卵の数と大きさ③飢餓対応力の3点に着目し実験を進めているが、今大会では①エラの能力について報告した。観察の結果から、在来エビと外来エビでエラの個数は8個と同数であったが、外来エビのエラは上腹部側から4つが体調のわりに大きく、またヒダの数もエラの大きさに比して多いことが判明。つまり、水に接する表面積が大きいことが明らかとなった。この結果から、外来エビの方がエラの能力が高く、DO値の低い水質にも対応可能であることが分かった。

■江戸川大学

護岸工事による河川の環境変化について。千葉県柏市を流れる染井入落は全長約5キロほどの普通河川で、昭和40年代に圃場整備事業により築造された。農業用水路として使用されていたが機能低下により約3キロにわたって護岸工事が行われた。工事前には29種類1326匹いた生物が、工事後には18種223匹と激減。工事は環境に配慮したものとされているが、およそ2.9面張りの水路では植物の生える隙間や堆積する土砂はごく僅少で、その結果、生物の減少と水流の単純化が生じている。また視覚的にも大きな変化が生じ、地域住民にとって違和感となってしまっている。今後も改良工事は続く予定となっているので、引き続き調査を行い、併せて地域住民へのヒアリングも実施していく。

イベント情報



大正で大正浪漫ふっしょんしょう

大正で、懐かしい時代にたいむすりっぷ！
小さな町のレトロを楽しむ手作りイベント。
あったかい雰囲気。それでもって粋な
浪漫あふれるファッションショーです。

- 日 時：4月23日（日）
- 時 間：開場 12：30 / 開演 13：00
- 場 所：きらら大正
高知県高岡郡四万十町大正 200 番地 1
- 入場料：1,000 円（おさんじ付き）
※前売りチケットを販売しています。
※販売場所：大正駅前にぎわい拠点、四万十町商工会
- 主催：大正浪漫ふっしょんしょう実行委員会
- お問い合わせ：090-5147-4447（田辺）

四万十リバーフェスタ 2017

- 日 時：4月23日（日）
- 時 間：10：00～15：00（※神事は9時から行われます）
- 場 所：四万十川 川遊び公園ふるさと交流センター
- 参加費：無 料
※天候による川の増水時は、川遊びが中止になる場合があります。
※ラフティング、カヌーは保険料として料金が発生します。
※ラフティングは事前申し込みが必要になります。

- お申し込み・問い合わせ先：
- ▼ラフティング申込や現地に関しての問い合わせ
ふるさと交流センター TEL：0880-28-5758
- ▼その他のお問い合わせはこちら
四万十町観光協会 TEL：0880-29-6004